

# 日本における近況

食品や生活用品の容器ボトルを再利用可能なものに置き換える、循環型ショッピングプラットフォーム「Loop」が3月から東京都内で導入される。使い捨てプラスチックの削減を目指し欧米で先行している取り組みだが、容器ボトルのデザインも利用時の付加価値となっている。世界20カ国以上でリサイクル事業を手がける米国のベンチャー企業、テラサイクルが2019年5月にアメリカ、フランスでスタートした「Loop」。再利用可能な容器ボトルを用いてECや小売店で販売し、使用後に容器ボトルを回収し、洗浄、再充填の後に再販売することでごみを減らす仕組みだ。日本でも2021年3月に東京都内からスタートする。Loop専用の容器ボトルを使用した販売・回収経路は2種類あり、開始当初はECで5000世帯、小売店経由ではイオン17店での導入となる。

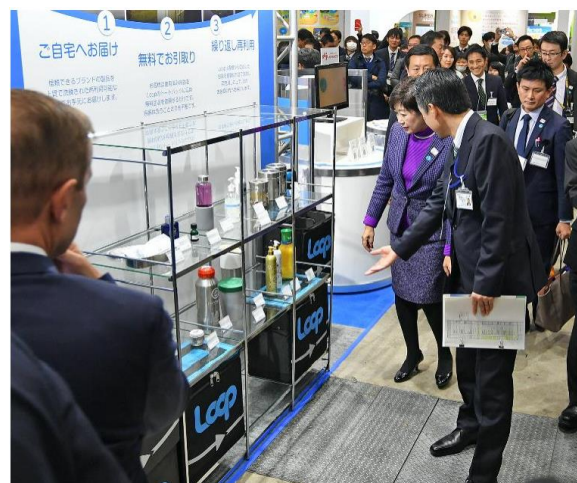
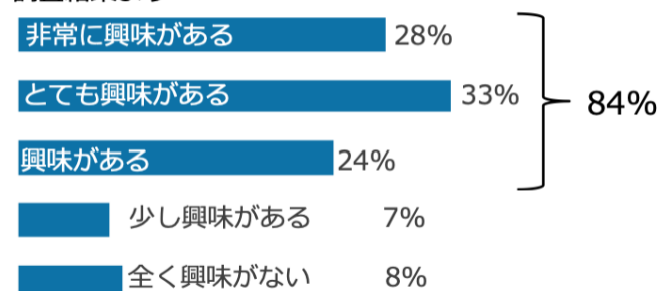


図1. Loopへの関心度 (n = 250、パリ市)

## 消費者のLOOPへの関心度

パリ市の250人のオンライン消費者を対象としたアンケート調査結果より



# リサイクルにおけるボトル容器の特性

プラスチック（PET・PP・PEなど）は、熱、紫外線により劣化。修復は出来ない。

アルミは軽く錆びにくいという性質を持っている反面、柔らかく傷つきやすい。



必要なこと

耐久性・耐熱性

洗浄

最適な材質

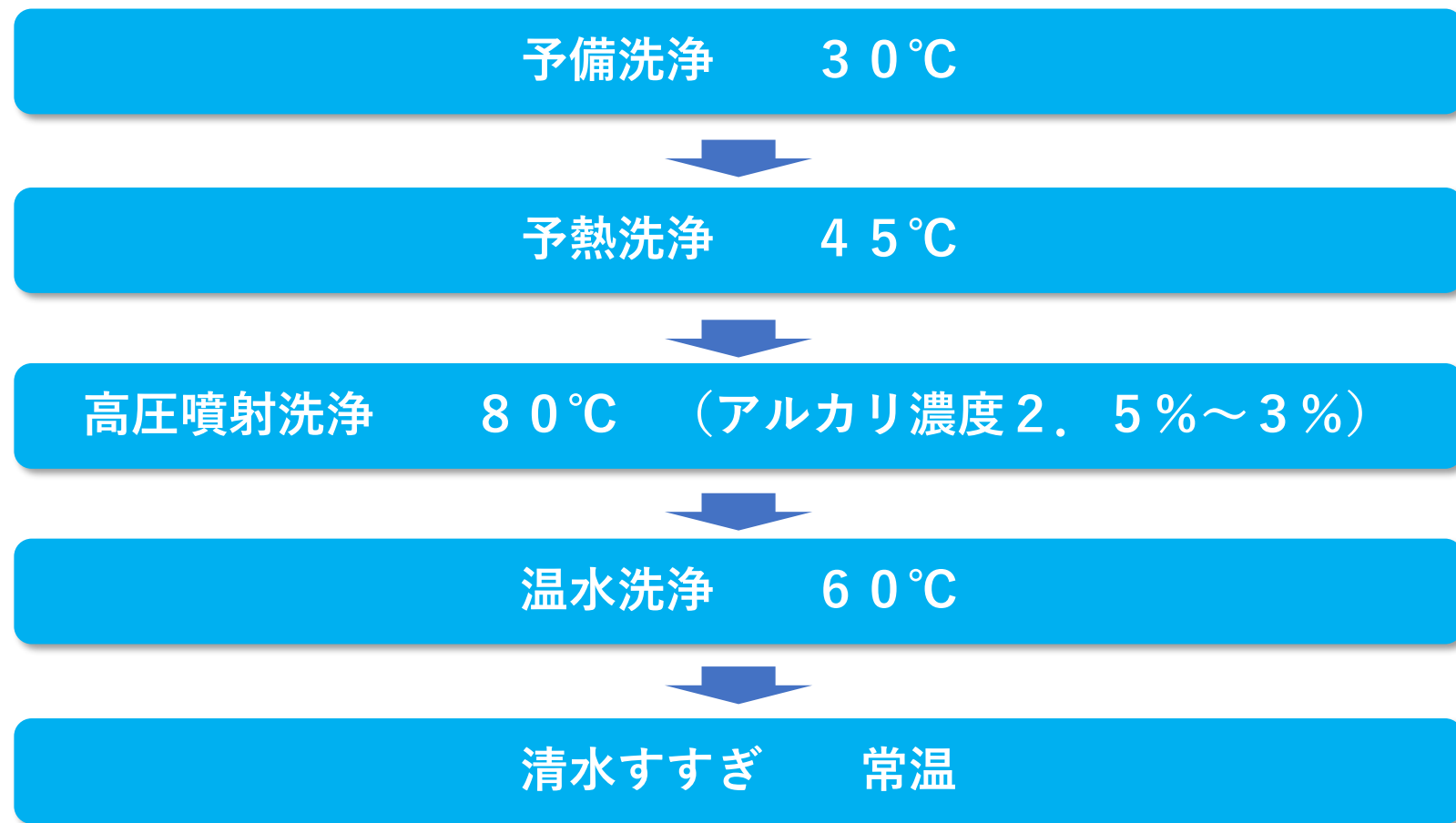
ステンレス

びん



# ボトル容器の洗浄

洗浄条件（一般的なびんの洗浄の場合）

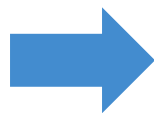


※ステンレス容器の場合、上記工程と一部異なります。

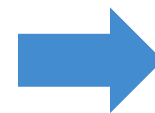
# 弊社で出来ること



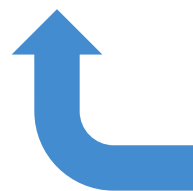
処方開発



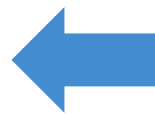
容器の手配



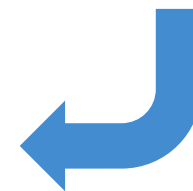
軟包材の手配



流通管理（真贋判定）



容器の洗浄



全過程を、実績の高い製造工場とともにワンストップでトータル的にサポート

# 流通管理（真贋判定）とは？

特許技術の電子認証技術『Hidden Tag<sup>®</sup>』を活用 

目で確認できないTAG情報を専用アプリで読み込むことで、スマートフォンのデータ（位置情報や端末情報など）と一緒にサーバーに送り、アクセス状況などから総合的に判断し真贋判定などを行う世界の消費者認知度1位のソリューションシステムです。TAGは全て違うナンバーになっており、1枚ずつ違う情報が書き込まれており、かつ特許技術となっております。



お客様が会員登録を行うと、真贋判定・流通管理と併せてマーケティング機能も可能に！

流通管理（不正）

真贋判定

Lot番号管理

購買分析

他商品の告知

ポイントの付与

# 循環型リサイクルの流れ

